

# 定例公安委員会の開催状況について

令和7年3月27日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

## 1 定例会報告事項

### (1) 令和6年中における警察宛て苦情取扱状況について

令和6年中における警察宛て苦情取扱状況について報告があった。

委員から、苦情に対しては、引き続き迅速な対応と公正な調査を徹底するとともに、苦情に発展するような事案を少なくしていくことが必要である旨の発言があった。

委員から、警察官は、毅然とした職務執行が求められる場合があり、その際の言動が不適切と受け取られ、苦情になるケースもあるのではないか旨の発言があったほか、調査の結果、警察側に不適切な対応があったと認められた場合には、当該職員に対して、どのように対応すべきであったかを適切に指導していただきたい旨の発言があった。

委員から、苦情は、警察に対する期待の表れと捉えることができる旨の発言があったほか、苦情に対して萎縮することなく、県民から期待を寄せられているという意識を持って、警察活動に取り組んでいただきたい旨の発言があった。

### (2) 事件現場医療派遣チーム（山形 I M A T）の活動に関する協定の締結について

事件現場医療派遣チーム（山形 I M A T）の活動に関する協定の締結について報告があった。

委員から、東北地方で初締結となる今回の協定を生かし、事件現場での応急の人命救助という目的を達成するため、関係機関としっかり連携していただきたい旨の発言があった。

委員から、山形 I M A T の運用により、対象事件発生時には、119番通報を待たずに医療機関が現場待機する体制が確保されるようになったが、これは、人命救助の観点から大変重要である旨の発言があった。

委員から、関係機関とは定期的に訓練を行っていただきたい旨の発言があったほか、各地域の3次救急病院との協定の締結といった、更なる連携の広がりを期待したい旨の発言があった。

### (3) 春の交通安全県民運動の実施について

春の交通安全県民運動の実施について報告があった。

委員から、交通死亡事故等の抑止に向け、計画どおり取り組んでいただくとともに、悲惨な事故につながる飲酒運転の取締りも強化していただきたい旨の発言があった。

委員から、交通安全県民運動出発式では自転車ヘルメット推進モデル校の生徒による自転車パレードが行われるとのことであり、大変楽しみであるとともに、着用促進に向けた意義のある取組になることを期待したい旨の発言があったほか、新学期がスタートする時期でもあるので、横断歩道等の路面標示の状況をしっかり確認していただきたい旨の発言があった。

委員から、自転車ヘルメットの着用促進に向けては、各地区のヘルメット推進

モデル校の協力を得て、各地で自転車パレード等を実施すれば、県民に対するPR効果が大きいのではないか旨の発言があった。

(4) 「2025年日本国際博覧会」(大阪万博)に向けたテロ対策合同訓練の実施について

「2025年日本国際博覧会」に向けたテロ対策合同訓練の実施について報告があった。

委員から、万博開催に向け、計画に沿った訓練や警戒活動を実施していただきたい旨の発言があったほか、近年は、大規模イベントを狙ったサイバー攻撃が増えていることから、攻撃への備え、企業等への注意喚起もお願いしたい旨の発言があった。

委員から、事案発生時に連携する関係機関との合同訓練は、大変重要であり、県内でも、駅等での不審物発見事案が発生していることから、対処方法等についてしっかり訓練していただきたい旨の発言があった。

委員から、テロは、いつ、どこで、どのように起こるか分からないため、今後も随時訓練を実施していただきたい旨の発言があったほか、今回、防護服を着装した訓練を実施したが、装備品の有効性等をよく確認しながら、実のある訓練を行っていただきたい旨の発言があった。

(5) 警察職員の安全対応を踏まえた災害警備活動の高度化の推進状況について

警察職員の安全対応を踏まえた災害警備活動の高度化の推進状況について報告があった。

委員から、昨夏の大雨災害における活動を教訓に、装備資機材の充実を図ったことを評価したい旨の発言があったほか、近年の異常気象を踏まえ、詳細な気象情報を入手するシステムを導入したことも的確な対応であることから、災害現場で活動する警察官等の対応力向上に向け、引き続き教養や訓練に取り組んでいただきたい旨の発言があった。

委員から、災害対応のための装備資機材の充実化が進んでいる印象を受けたが、これらの資機材を有効に活用するためにも訓練にしっかり取り組んでいただきたい旨の発言があった。

委員から、山形県警察が、災害警備活動の高度化に強い意思を持って取り組んでいることを実感したことから、今後は、新たに導入された装備資機材を活用し、県民の安全安心を確保するとともに、災害警備活動に従事する警察官の安全も確保していただきたい旨の発言があったほか、昨年7月の大雨災害の教訓を、しっかりと後世に受け継いでいただきたい旨の発言があった。

## 2 個別審議等会議

- 銃砲所持取消処分に係る聴聞について  
警察本部から、銃砲所持取消処分に係る聴聞について説明を受け、決定した。
- 援助の要求について  
警察本部から、他府県公安委員会からの援助の要求について説明を受け、決定した。
- 運転免許行政処分審査  
警察本部から、運転免許の取消処分に係る意見の聴取、聴聞結果について説明を受け、決定した。
- 公安委員会宛て苦情に係る調査結果について  
警察本部から、公安委員会宛て苦情に係る調査結果について説明を受け、決定した。
- マイナ免許証への切替状況について  
警察本部から、マイナ免許証への切替状況について報告があった。
- 令和6年中における警察宛て苦情の取扱状況について  
警察本部から、令和6年中における警察宛て苦情の取扱状況について報告があった。
- 山形県監査委員による定期監査の結果について  
警察本部から、山形県監査委員による定期監査の結果について報告があった。
- 審査請求の受理について  
警察本部から、審査請求の受理について報告があった。
- 特定秘密保護法に基づく保護措置等の状況について  
警察本部から、特定秘密保護法に基づく保護措置等の状況について報告があった。